

兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会
発行 兵庫県商工団体連合会
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563(代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2016年4月 第284号

消費税再増税中止

今年の確定申告では、「所得税はわずかなのに、消費税が倍になった」「年間通じた8%の税率は中小業者つづし」と、怒りの声が寄せられています。3月11日を中心に、重税反対全国統一行動が県下24カ所で行われ、6千人を超える参加者が「消費税下げろ」「戦争法廃止」と、怒りのごぶしを上げました。

生活に食い込む重税

寺元 美智江さん (部品加工) 【伊丹民商】

伊丹で事業をはじめたかれこれ37年が経ちました。事業の内容は石油ストーブの部品加工や自動車部品の点検などを行っています。多くの内職さんや外注さんの協力で何とか事業を継続してきました。しかし、消費税が導入されてから、消費税率が引き上げられるたびにどうしようかと頭を痛めています。

今年の申告は、売上げが1200万円下がったのに税額は10万円以上も多く本当に大変です。支払うのも毎回分割でなんとか払っていますがその分生活費を切

働き分取られる感じ

堀口 裕司さん (飲食店) 【東灘民商】

私は10坪程の小さな食堂を38年間営業しています。消費税が8%になって今ほど営業に危機感を持った事はありません。前年は何とか払う事ができました。それでも数十万円と、今まで払った事のない税額でした。消費税は預かったものを一括して支払うと

いいですが、その様な事は感じた事がありません。自分の働いた分、家族や従業員が一生懸命働いた分をもぎとられる感じがします。政府が言うように「税金を預かる」ためには、売値を上げるしかありません。でも、それをすれば、他店とのかねあいもあり、お客さんの負担を考えるとできないのが現状です。結局前年の1.5倍もの税金になってしまっています。こんな理不尽な事はありません。消費税はなくなさなければならぬと思います。10%の値上げは絶対にやめさせなければなりません。そのためにお客さんや皆さんと一緒に消費税再増税反対の声をあげていきます。

戦争法廃止2000万人署名ゴール目前 あなたも署名を集めましょう

戦争法廃止2000万人署名、5月3日のゴールまであと1ヵ月余となりました。民商・兵商連では、3月23日現在、3万人から署名が寄せられ、「あと1ヵ月ラストスパート」



と、奮闘しています。神戸親和民商は、約5千人の署名を集めていますが、飲食店を営む会員がお客さんに訴えるなど、1人で50人、100人と集めるチャレンジャーが運動を支えています。東灘民商では、ほとんどの会員から署名を集め、千人を超える勢いです。県下では「戦争させない、9条壊すな」5・3兵庫憲法集会」が、これまでの共同の枠を超えた広がりで行われます。あなたの行動が政治を変える。一緒に行動しましょう。

つぶされないぞ!

増田 博子さん (家電販売) 【淡路民商】

この不況のなか、消費税が10%になれば余計に消費も落ち込み、少しでも安いものを求めるお客さんが量販店へ流れます。8%でも大変なのに、10%になったら営業できるのだろうか? 消費税を納めることができないのだろうか? と不安になります。福祉のために使われるならいざい自分にかえてくれると

思います。軍事的ですが、軍事費5兆円超は許せません! 家電小売・修理・設備工事を行っています。工事も下がり、消費



神戸市中央区で、お好み焼き店を開いて約50年。一昨年の4月

税率10%は中止を

加藤 幸子さん (飲食店) 【善合民商】

神戸市中央区で、お好み焼き店を開いて約50年。一昨年の4月

に消費税が8%になったときに値上げができず、消費税をはじめとする重税が資金ぐりを悪化させています。現在はやりくりをしながら店を開けていますが、今年申告をした27年度の消費税額は1年間で42万円(昨年36万円)。支払いの準備が苦しく分納を考えると来年度は厳しいところまで来ています。経費の見直しも心がけていますが、もう限界で、値上げをするか廃業かと考える日々を送っています。来年4月に10%になれば、販売を続けていくことが本当に難しくなると思います。絶対に消費税10%への再増税を中止させ、販売を続けていきたいと思っています。

に消費税が8%になったときに値上げができず、消費税をはじめとする重税が資金ぐりを悪化させています。現在はやりくりをしながら店を開けていますが、今年申告をした27年度の消費税額は1年間で42万円(昨年36万円)。支払いの準備が苦しく分納を考えると来年度は厳しいところまで来ています。経費の見直しも心がけていますが、もう限界で、値上げをするか廃業かと考える日々を送っています。来年4月に10%になれば、販売を続けていくことが本当に難しくなると思います。絶対に消費税10%への再増税を中止させ、販売を続けていきたいと思っています。

▼スーパーへの途次、市住の休憩ベンチに集う数人の若者が「風強いね」と親しそうに声をかけてきた。帰宅の途端プザリがなりドアを開けると先ほどの若者達。「新しい宗教にどうぞ」と。即座に「ノー」と応じた。日頃もプザリの度に出ていると、中年の女性数人が冊子を示して新宗教へと勧誘。勿論、即座に「ノー」と。開祖キリストは前6年頃、後31年処刑。人名はイエス。キリストは救世主の意。彼はユダヤ人で大工職。紀元後28年頃、ヨハネから洗礼を受け巡礼運動に入る。31年頃処刑され数年後、「復活」と。釈迦は紀元前463〜前383年頃。農耕に従うアリアン種族。29歳で出家、菩提樹の下で神秘的宗教体験を得た。以後80歳まで各地を托鉢して遍歴、教を説く。マルクスとエンゲルは史的唯物論剰余価値学説の二大発見でそれまでの空想的だった社会主義・共産主義運動と理論を科学的土台においた。4月1日はエイプリル・フール。午前中に軽いウンツについて人をついででも許されるという風習、まただまされた人を使う。もと欧米の習慣。但馬から生まれた民商運動。見つめて意にたいし、行動しよう。(一)





JRは事業計画示して!

神戸元町高架下 モトコー商店街



JR元町高架下の商店街「モトコー」は、元町駅西口から1番街が始まり、神戸駅の手前7番街まで続く300店舗を抱える老舗の商店街です。戦後、復興を告げる神戸の町の賑わいを支え、今日に至っています。

寝耳に水

2月4日、第1回目の集まりに参加した会員は16人。話し合いでは、JRと直接契約を結ぶ山側の店舗をH29年3月末まで、JR・神戸市・振興組合の3者契約の、浜側店舗はH30年3月末を持って、契約更新をしないということが明らかになりました。耐震工事と防火・防

災を理由にしています。耐震化の工法やその後、商売ができるのかも明らかにされています。参加者からは、「話を聞くのは初めて」「寝耳に水」と、不安と怒りの声。JRの事業計画が分らず、いら立つばかりです。



参加しました。モトコー3番街で昨年9月から神戸市の家賃補助を受けて店をオープンした会員からは、「ここで商売しようと思

数百万円の設備資金と投入した。まるで詐欺のよう」と発言。また、何十年と営業されてきた方から、「モトコーがなくなることは大きな問題。ひとつの文化がJRによって消されてはいけない」と、思いを話されました。

「回りの店舗はこのことを知らない人も他の人にも伝えよう」「個別では太刀打ちできない。団結しよう」と話し合いました。

JRは、全体での説明会は開かず、個別に訪問をはじめていきます。参加者は、「JRと神戸市に全体での説明会を開いてもらい、計画を明らかにさせよう」と、意思統一。情

お腹も親睦も大満足

カニバスツアー

【尼崎民商】

園田支部から始まったバスツアー、現在は神崎支部と西園田支部も合わせて3支部合同で実行委員会を開き、実施しています。

3月20日に行われた今年のバスツアーは、但馬民商会員の「さどや」にカニを食べに行きました。行ききのバスの中では実行委員長の矢原仁さ

んが「確定申告お疲れ様です」とあいさつ。あと、参加者から自己紹介。「娘と孫と一緒に参加しました」「1生分のカニを食べるつもりで来ました」「塗装業なのでペンキ塗りがご婦人の方化粧塗りがまかして下さい」など笑顔溢れながら目的地へ向かいます。

食事をしながら、商売のことや身の周りのこと、民商のことなど交流ができるので、お互いのつながりが深まります。最後に雑炊が待ち構えていましたが、出発の時間も押し迫り、や



むなく露天風呂へ。帰りの途中にたくさんのお土産も買い大満足なバスツアーでした。

全商連総会成功へGO!

灘民商拡大推進委員長 佐藤賢一さん

灘民商では、「何としても4・1現勢を上回ろう」と役員会で決め、1月〜3月の目標を読者92人、会員32人としました。会員目標は上回りましたが、読者はまだ目標の半分にも至っていない状況です。

経営に役立つ 商工新聞を増やそう!



春の運動では、会員への訴えが行き届かず、読者拡大の盛り上がりが見られませんでした。全商連総会(大阪)の成功にむけて、声かけを強め、目標達成をめざしていきたいと考えます。一緒にがんばりましょう。

編集後記

今、子どもの教育費はかさむ一方です。制度を活用しましょう。子どもが安心して学べるように。就学援助制度は、「義務教育は無償」とした憲法第26条、学校教育法に基づき、小中学生に学用品費や給食費、入学準備金などを支給する制度です。

経営情報

ニーズにそった経営を



1984年に店舗付き住宅で美容室をオープン。子育てのかたわら、在宅勤務が魅力で自営を始めました。

子どもの成長に合わせて店も成長し、一時は支店を含め4店舗の経営に。今はスタッフの店長に2支店を譲り、2店舗経営しています。

3月22日は、民商の「モトコー何でも相談会」をまちづくり会館で開催。会外業者を含む40人を超える相談者が訪れました。「JRは説明会を開き、計画を明らかに」の運動を広げ、今後のことを皆で考えていこうと、力強い運動が始まりました。

私の商売ものがたり

NO.161

石原香澄さん (美容) 揖電六粟民商

入口はスロープ・自動ドアに改装し、車での送迎をしています。今後は併設の個室美容室をチャイルドとママの個室美容室として活用することも計画しています。

ぽぴい グランジュ 〒679-4003 龍野市揖西町 小神120 TEL.0791-63-3816